健康×安心
×おトク

地球に
やさしい暮らし

～家庭向け・脱炭素への取組～

今、起きている「気候変動」とは？　その影響は？

自然を吸い込む、街の音が聴こえる
高根沢
TAKANEZAWA TOWN

〇気候変動とは、長期的な気温や降水量の変化を指し、近年は主に人間の活動に起因する温室効果ガスが大きく影響しています。
〇気候変動によって、以前よりも気温が高く暑くなった、短時間で大雨が降ることが増えてきたと感じませんか？こうした変化は食べ物・健康・暮らしなどに様々な影響を与え、今後さらにひどくなるかもしれません。

出典：気候変動適応情報プラットフォーム

「気候変動」への対策は？

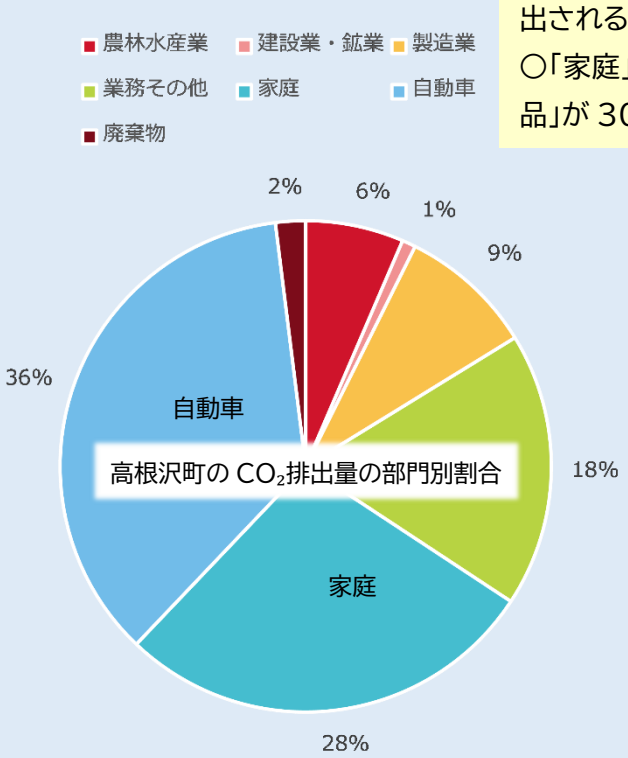
気候変動対策は原因（温室効果ガスの発生）を減らす**「緩和」**と今起きている・これから起きる影響に備える**「適応」**があります。

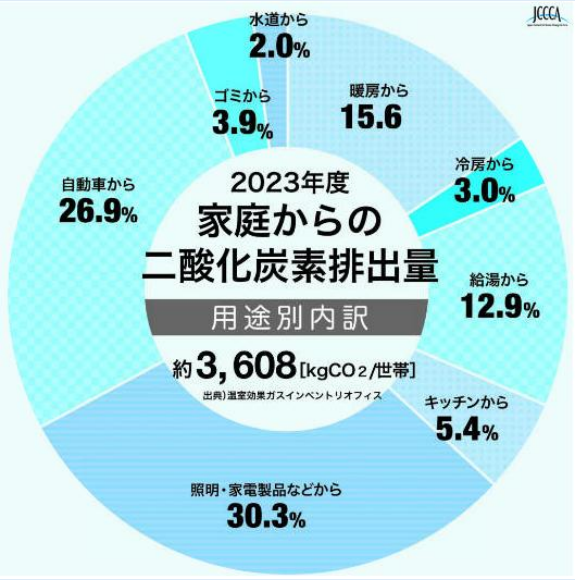
出典：気候変動適応情報プラットフォーム

「気候変動」の影響を減らすためには？

「緩和」・原因を減らす

○町全体の１年の温室効果ガス（CO_2）排出量 136,183t-CO_2のうち、「自動車」から排出される割合が36％で一番多く、次いで「家庭」から排出される割合が28％となっています。（2020 年度）
○「家庭」から排出される温室効果ガス（CO_2）の割合は、「照明・家電製品」が 30％を占め、次いで「自動車」「冷暖房」「給湯」となっています。





出典：全国地球温暖化防止活動推進センター

今すぐできる！家庭の脱炭素の取組（＝緩和策）

① お金をかけなくてもできる「省エネ」

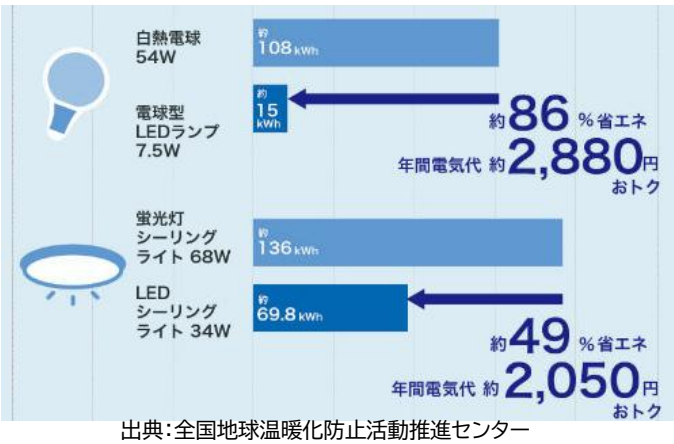
・家庭での CO_2排出量が多い「冷暖房」「照明」などの家電製品は、使い方を工夫するだけで省エネにつながります。
・無理をしたり我慢したりすることなく取り組めて、さらに光熱費も減るので「健康」や「おトク」にもつながります。

機器	項目	省エネ効果（月）	光熱費節約（月）
エアコン	**設定温度を適切に**	約2.52kWh	約68円
	外気温度 31℃の時、エアコン（2.2kW）の冷房設定温度を 27℃から 28℃にした場合（使用時間：9 時間／日）		
	フィルターをきれいに	約2.66kWh	約72円
	フィルターが目詰りしているエアコン（2.2kW）とフィルターを清掃した場合の比較		
冷蔵庫	**設定温度を適切に**	約5.14kWh	約139円
	設定温度を「強」から「中」にした場合（周囲温度 22℃）		
	入れる量を控えめに	約3.65kWh	約98円
	冷蔵庫にものを詰め込んだ場合と、半分にした場合との比較		
テレビ	**明るさを控えめに**	約2.26kWh	約61円
	テレビ（32V 型）の画面の輝度を最適（最大→中間）にした場合		
電気ポット	**保温時間を適切に**	約8.95kWh	約242円
	電気ポットに満タンの水 2.2L を入れ沸騰させ、1.2L を使用後、6 時間保温状態にした場合と、プラグを抜いて保温しないで再沸騰させて使用した場合の比較		
洗濯機・洗濯乾燥機	**洗濯はまとめて**	約0.49kWh	約13円
	定格容量（洗濯・脱水容量：6kg）の 4 割を入れて洗う場合と、8 割を入れて洗う回数を半分にした場合の比較		
	乾燥はまとめて	約3.50kWh	約94円
	定格容量（5kg）の 8 割を入れて 2 日に 1 回使用した場合と、4 割ずつに分けて毎日使用した場合の比較		

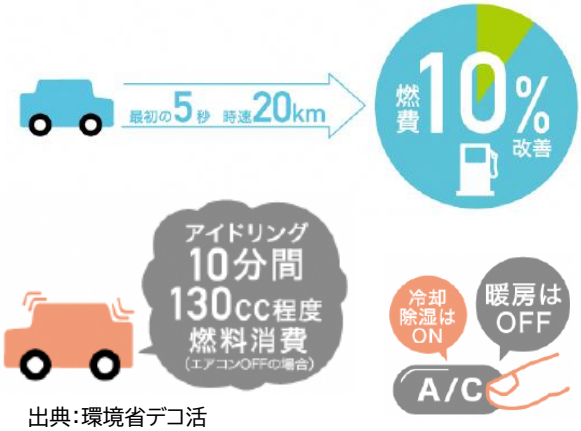
出典：全国地球温暖化防止活動推進センター

② 買い替えの時に「省エネ」

・冷蔵庫や洗濯機、エアコンやテレビなど、家電製品を買い替えるときは「省エネ性能が高い」ものを選びましょう。
・照明器具は、消費電力が少なく寿命の長い LED に切り替えましょう。（※蛍光灯は 2027 年までに製造や輸入が禁止され、交換できなくなります。）
・使用する電力量を減らすことができ、電気料金が下がって「おトク」、CO_2排出量も下がります。



出典：全国地球温暖化防止活動推進センター



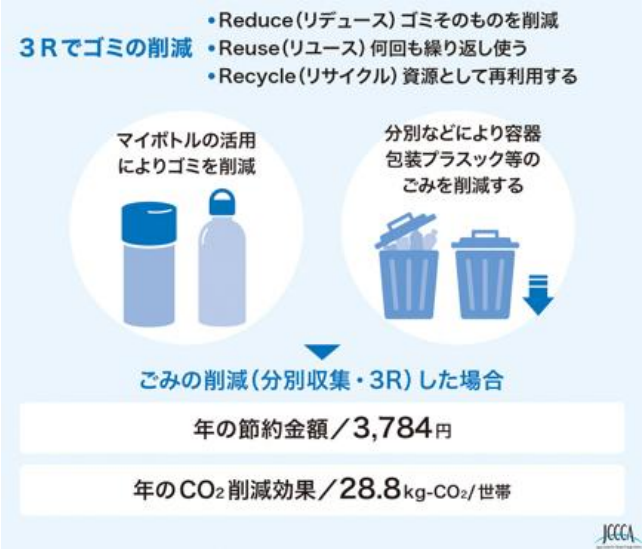
出典：環境省デコ活

③ 自動車の運転は「エコドライブ」

・発進時はゆっくり発進し、車間距離にゆとりをもってムダな加速・減速をしない運転を心がけましょう。
・エアコンは適切に使用し、暖房のみ必要な時はオフにしましょう。
・渋滞を避け、余裕をもって出かけましょう。
・不要な荷物は下ろし、ムダなアイドリングもやめましょう。
・こまめにタイヤの空気圧や燃費の点検をしましょう。
・使用する燃料が減って「おトク」、CO_2排出量も減らせます。

④ ごみを減らして「きちんと分別」

・ごみを出さないように「本当に必要か」考えて買い物しましょう。
・まだ使えるものは、繰り返し使う・人に譲る・リユースショップに売るなど、ごみにしない工夫をしましょう。
・繰り返し使えるマイボトルを活用しましょう。
・生ごみ処理機やコンポストで生ごみを再資源化しましょう。
・古紙、プラスチック、ペットボトル、アルミ缶などの資源はきちんと分別してごみの量を減らしましょう。
・ごみを減らすと節約になって「おトク」、CO_2排出量も減らせます。



出典：全国地球温暖化防止活動推進センター

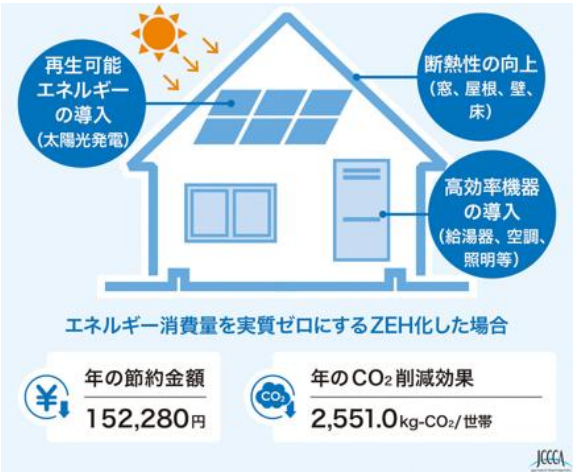
もっと効果を出すなら！家庭の脱炭素の取組（＝緩和策）

① 太陽光パネルと蓄電池で「創エネ」

・太陽光パネルで発電した電気を蓄電池に貯めて電力の自家消費ができ、電気料金が下がって「おトク」に。
・夜間や停電時でも蓄電池の電気を使えるので災害発生時も「安心」。
・太陽光発電は化石燃料を使わない「再生可能エネルギー」なので、CO_2排出量も減らせます。

② 住まいを「ZEH」（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス） に

・太陽光発電、断熱性の向上、高効率の給湯・空調等を備えた住宅は、エネルギー消費量が大幅に削減できるので、光熱費の節約で「おトク」に、CO_2排出量の削減効果も大きくなります。



出典：全国地球温暖化防止活動推進センター

③ 断熱リフォームで「省エネ」

・冷暖房を使っていても、住宅の屋根や壁、床などから屋外へ熱が逃げています。特に窓やドアといった開口部から、夏は暑い空気が流入し、冬は温めた空気が流出しています。
・断熱リフォームをすることで、冷暖房時の熱の流入出が抑えられ、室温が一定に保たれるので快適に過ごせます。
・断熱リフォームで、電力量が減って「おトク」に、熱中症やヒートショックの危険が減って「健康」「安心」な暮らしになり、さらに CO_2排出量も減らせます。

「適応」・影響に備える

〇毎日の暮らしで CO_2排出量を減らしても、すぐに気候変動が止まるわけではありません。今起きている・これから起きる影響を最小限にするために、備えることも大切です。

熱中症に備えよう（＝適応策）

・気温が高くなる日は、こまめに休憩と水分補給をしましょう。
・室内でも熱中症になることがあります。エアコンを適切に使って快適に過ごしましょう。
・気温が高い日の屋外での活動や外出は、できるだけ気温が低い時間帯にして、日傘や帽子を活用しましょう。
・乳幼児や高齢者は熱中症になりやすいので、周囲の人が気にかけてみまもりましょう。
・「熱中症特別警戒情報」が出たときは、クーリングシェルターに避難することができます。

クーリングシェルターについて（町 HP）⇒

災害に備えよう（＝適応策）

ハザードマップ（町 HP）⇒

・気候変動の影響で、雨の降り方が変化（極端化）しています。
・雨が降る日数が減っていますが、降水量は増えていて、短時間で集中して大雨が降る集中豪雨や「ゲリラ豪雨」が増えています。
・海水温の上昇や偏西風の蛇行によって、台風が大型化し、日本に上陸する可能性が高くなっています。
・豪雨や台風による洪水・浸水などの水害には、事前に身を守るための準備ができます。
・ハザードマップを確認し、いざという時のために「マイタイムライン」を作成しておきましょう。
・地域の防災訓練に参加し、災害発生時の動きを確認しておきましょう。

※町では、太陽光発電・蓄電池、断熱リフォーム、電気自動車（EV/PHEV）等の設置費・購入費の補助事業を実施しています。補助事業の詳しい内容や気候変動対策・脱炭素に向けた取組については、町ホームページに掲載しています。

気候変動対策（町 HP）⇒

高根沢町環境課
TEL:028－675－8109
MAIL:kankyou@town.takanezawa.tochigi.jp